

みえ福祉の「わ」創造事業 平成 28 年度実施報告について

みえ福祉の「わ」創造事業事務局
社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

みえ福祉の「わ」創造事業において当初から展開している3事業について、平成 28 年度の実施状況及び実績を、評価と課題を含めて報告します。

1 生活困窮者支援緊急食糧提供事業（実績額 1,971,780 円）

生活困窮者世帯に対し、緊急的に食糧を提供することにより、当該世帯の生活維持及び再建に向けた相談支援を推進する事業です。

○ 実施内容

- ・当面の食糧に困窮する方に対して、約 3 週間分の食糧提供を行います。
- ・食糧は、NPO 法人セカンドハーベスト名古屋（以下「2HN」という。）から提供いただく。配送等の費用について本事業で負担します。

○ 対象者

- (1) 三重県内に居住しており、緊急的かつ一時的な支援が必要である方
- (2) 本事業による食糧の提供を 3 回以上受けたことがない方
- (3) 生活保護を受給していない方（申請中を含む）

○ 利用方法

申請は、各市町の社会福祉協議会で受け付けます。

食糧は、2HN から 1 ～ 2 営業日後を目途に届けられます。受け取りは申請した市町社会福祉協議会（以下「市町社協」という。）となっています。

○ 現状

平成 28 年度は 998 件のご利用をいただいた。年間 800 件と見積もっていたため、想定より多い結果となりました。

四日市市の 177 件が最多で、津市 155 件、松阪市 114 件が続いています。

○ 評価と課題

2 回目の利用は 204 件、3 回目（最終回）の利用に至った件数が 66 件あり、複数回の利用も目立っており、一朝一夕に生活課題の解決が図れないケースが多くなっています。

本県の他、岐阜県や名古屋市を初めとする愛知県内の一部自治体でも先行して同様の協定を 2HN と締結して食糧支援をしていることから、時期によっては 2HN でコメが不足する事態になっていたことを踏まえ、県民への協力を呼びかけて、2HN に食糧を集めて

届ける取り組みを実施しました。また、提携先の増加により、2HNの基盤強化が課題となっています。

2 緊急時物品等支援事業（実績額 267,978 円）

緊急性の高い支援を要する生活困窮者世帯に対し、6,000 円を上限として必要な物的支援を行う事業です。

○ 実施内容

- ・生活困窮者の自立相談支援にあたって当面必要な消耗品（水、オムツ、生理用品、カセットガス etc.）等を市町社協で購入し、相談者へ支給します。
- ・市町社会福祉協議会で発生した費用については、みえ福祉の「わ」創造事業事務局（三重県社会福祉協議会）から後日支払われます。
- ・電気やガスが使えず、炊飯ができない方については、カセットコンロの貸与も可能です。
- ・嗜好品やその他生活を維持するのに最低限必要とは認められないものは除外されます。

○ 対象者

緊急性の高い物品等の購入支援を要する生活困窮者世帯の方。

より使いやすい制度を目指し、就職活動等で急きょ必要となった公的証明書類の取得費用や、理美容等身だしなみを整える費用にも利用できるよう、対象経費を平成 28 年 11 月 16 日付で拡大しました。

○ 利用方法

対象者が、市町社協で相談される中で利用申請をしていただき、必要となる物品等の購入費用を市町社協で立て替えて支払うことで、購入した物品等は相談者へ即日交付されます。

○ 現状

平成 28 年度、個人を対象とした支援については 68 件のご利用をいただきました。

津市の 17 件が最多で、伊勢市・松阪市・伊賀市・名張市・いなべ市の各 6 件がこれに続きます。男女比は 3 : 2 程度で男性が多く、65 歳以上の高齢者の利用は 6 件（うち男性 5 件）のみと少なくなっています。男女とも利用者の年齢層は幅広くなっています。使途は緊急食糧提供事業の食糧が届くまでのつなぎの食料が 23 件と最多です。

○ 評価と課題

当初予算額（年間 524 千円）との対比でいえば 4 割程度の利用に留まっています。

本事業は緊急食糧提供事業を補完する目的で創設したものであるが、緊急食糧提供事業と連動しないニーズも散見されます。助成内容は多岐に亘っており、生活困窮者のニーズに対して即応できる制度として市町社協に活用していただいています。

3 生活困窮者就労活動支援事業（実績額 46,560 円）

生活困窮者が就労活動を行うための交通費を助成することで、就労による自立に向けた支援をします。

○ 実施内容

自立相談支援事業の利用者が、就労に向けて対象となる活動を行った場合の交通費について、1 行程あたり 100 円を控除し、1 行程あたりの上限額 1,500 円の範囲内で助成します。ただし、公共交通機関以外の手段を用いる場合の交通費、居住地管轄または特定隣接地域以外のハローワークまでの交通費、鉄道の普通運賃以外の各種料金は助成対象外となります。

○ 対象者

生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の利用者で、次の事由により公共交通機関を利用した方。

- (1) 利用者が、自立相談支援事業を 2 回目以降に利用した場合の自立相談支援機関までの交通費
- (2) 居住地を管轄するハローワークを含む職業紹介事業所までの交通費（ただし、ハローワークに関しては、一部の特定隣接地域についても対象に含める。）
- (3) 企業等における採用面接会場までの交通費
- (4) 生活困窮者自立支援制度の任意事業である就労訓練事業および就労準備支援事業を利用している場合の訓練先等までの交通費

○ 利用方法

利用者は、利用している自立相談支援機関で利用申請書を入手し、所定の欄に訪問先からの証明を受け、市町社協へ助成金を申請し、交付を受けます。

○ 現状

平成 28 年度は、94 件 187 行程分のご利用をいただきました。理由は就労訓練事業への通いが 40 件、ハローワーク・職業紹介所への通いが 31 件となっており、その他の理由が 23 件となっています。

○ 評価と課題

利用実績は想定を大幅に下回るレベルに留まっています。金額ベースでは伊勢市、鳥羽市、志摩市、紀北町で 1 万円を超える実績があるなど、主として県南部で活用されています。市町の境界を超えないと有効な社会資源がない市町的生活困窮者にとっては、貴重な支援手段となっており、複数回に亘って利用される方も多くなっています。

平成 28 年 11 月 16 日付で制度運用の変更を行い、1 行程あたりの控除額を 250 円から

100 円に引き下げたり、申請書類から生活困窮者の文言を削除したりしましたが、利用は上向いていないのが現状です。

4 事務局の運営（実績額 1,056,612 円）

みえ福祉の「わ」創造事業の広報・啓発等について、以下の取り組みを実施しました。

○ 三重県社会福祉法人地域公益活動「みえ福祉の『わ』創造事業」運営委員会の開催

県域における「制度の狭間の生活課題」に対応する事業を検討・実施するため、以下の日程で運営委員会を開催し、事業内容等の協議を行いました。

- ① 平成 28 年 4 月 5 日
- ② 平成 28 年 6 月 27 日
- ③ 平成 28 年 10 月 26 日
- ④ 平成 29 年 3 月 21 日

○ みえ福祉の「わ」創造事業推進大会の開催

三重県において社会福祉法人の地域公益活動を積極的に推進するため、全国社会福祉協議会の高井康行副会長による講演をはじめとした推進大会を平成 28 年 4 月 22 日に開催し、県内の社会福祉法人の意思統一と士気の向上を図りました。

○ 参画証明書の発行

本事業に参画した社会福祉法人に、参画の証として平成 28 年 8 月から参画証明書を順次発行しました。

○ 専用 H P の新設

参画法人にご協力いただき、参画法人の紹介とそれぞれの法人で行われている地域公益活動を取りまとめた H P を平成 28 年 12 月に開設し、三重県内の社会福祉法人の地域公益活動について広く P R しています。

○ 食糧提供の感謝状の交付

緊急食糧提供事業で提携している 2 H N へ食糧を提供していただいた個人に対し、要望に応じて感謝状を交付しました。

5 新規事業の検討について

参画法人数、参画口数ともに想定を上回るご協力をいただけたことから、平成 29 年度から「賃貸住宅入居保証事業」をはじめとする新規事業の開発に取り組みます。

平成28年度 三重県社会福祉法人地域公益活動 みえ福祉の「わ」創造事業 決算書

【収入の部】 (単位:円)

大	科 目		予算	決算	差異	備考
	中	小				
1. 会費収入	1. 会費収入		7,730,000	7,740,000	10,000	
		1. 三重県地域公益活動参画会費収入	7,730,000	7,740,000	10,000	参画法人の増
		2. 三重県社会福祉法人地域公益活動収入賛助会費収入	0	0	0	
4. 繰越金収入	1. 繰越金収入		0	0	0	
		1. 前年度繰越金収入	0	0	0	
収入 合 計			7,730,000	7,740,000	10,000	

【支出の部】 (単位:円)

大	科 目		予算	決算	差異	備考
	中	小				
1. 事業費支出	1. 事業費支出		3,645,000	3,409,436	-235,564	
		1. 緊急食糧提供事業支出	2,160,000	1,971,780	-188,220	食糧送料等(双方向)
		2. 緊急時物品等支援事業支出	262,000	267,978	5,978	生理用品・つなぎの食糧、コンロ等
		3. 就労活動支援事業支出	100,000	46,560	-53,440	交通費助成
		4. みえ福祉の「わ」創造事業推進大会支出	223,000	237,160	14,160	講師謝金、旅費、会場費等
		5. みえ福祉の「わ」創造事業運営費支出	900,000	885,958	-14,042	HP作成費等
2. 事務費支出	1. 事務費支出		330,000	170,654	-159,346	
		1. 事務消耗品費支出	107,000	21,130	-85,870	
		2. 印刷製本費支出	56,000	88,560	32,560	ロゴ・封筒印刷代
		3. 通信運搬費支出	100,000	16,468	-83,532	
		4. 貸借料支出	17,000	0	-17,000	
		5. 手数料支出	50,000	44,496	-5,504	
3. 予備費支出	1. 予備費支出		3,755,000	0	-3,755,000	
		1. 予備費支出	3,755,000	0	-3,755,000	
支出 合 計			7,730,000	3,580,090	-4,149,910	

平成29年度への繰越額 (収入合計) - (支出合計) = ¥4,159,910